



カリフォルニア産ストーンフルーツ 輸出市場概要

カリフォルニアフレッシュフルーツ協会（CFFA）は、州、連邦、国際レベルにおいて、カリフォルニアのブドウ、ブルーベリー、ツリーフルーツ業界を代表し、立法・規制問題に取り組む任意の非営利農業業界団体です。CFFAの会員は、生鮮果実の生産者、荷造業者、出荷業者、販売業者130社以上で構成されています。ほとんどの生産者は多世代にわたる家族経営の農場で、慣行栽培と有機栽培が混在しています。CFFAは、アプリコット、ネクタリン、桃、プラム（ストーンフルーツ）のマーケティングキャンペーン、いくつかの植物検疫輸出プログラムを管理しています。



サンホアキン・バレーでストーンフルーツの
商業生産が盛んな群



カリフォルニアは高品質のストーンフルーツの生産地として世界的に有名です。2020年、カリフォルニア州食品農業局（CDFA）は、カリフォルニア州の生鮮ストーンフルーツ生産額は4億6,470万ドル以上と報告しました。ストーンフルーツの生産はサンホアキン・バレーのフレズノ郡、チューレア郡、キングス郡、カーン郡に集中しています。米国のストーンフルーツ輸出の約98%はカリフォルニア産です。生産量の3分の1近くが世界40カ国以上に輸出されていて、市場アクセスはストーンフルーツ産業の成功に不可欠です。

カリフォルニアのストーンフルーツの収穫は4月下旬から10月にかけてですが、収穫の約75%は6月から8月にかけて行われます。カリフォルニアのストーンフルーツ生産者は、あらゆる味覚や嗜好に対応できるよう、何百もの独自の品種や交配種を開発してきました。果実は手摘みされ、果樹園からパッキングハウスへ運ばれ、そこで冷却されます。その後、果実は大きな水槽に移され、洗浄、等級分け、梱包の工程に入り、そこでサイズ分け、選別、検査が行われます。輸出先に応じて、トラック、海上、航空便で出荷されます。

